

令和 5 年度 病院構造改革推進方策実施計画（案）

令和 5 年 3 月
病院局

1	目次	1
2	実施計画の構成	2
3	前年度（R4年度）計画からの変更点等	3
4	R5年度 重点取組事項	5
5	実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）	6

実施計画の構成

★新型コロナウイルス感染症への柔軟な対応

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化

- (1) がん医療
- (2) 循環器疾患医療
- (3) 糖尿病医療
- (4) 精神医療
- (5) 救急・災害医療
- (6) 小児・周産期医療
- (7) リハビリテーション医療
- (8) その他の政策医療

項目2 統合再編・建替整備

項目3 診療機能の効率化

項目4 研究機能の充実

II 安心できる県立病院の実現

項目1 地域医療連携の推進

項目2 医療安全対策等の推進

項目3 患者サービスの向上

項目4 医療の信頼性の向上

項目5 県民等への情報発信の推進

III 持続可能な経営の確保

項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組

項目2 収益の確保

- (1) 患者の受入れ促進等
- (2) 診療機能に見合う収益の確保等
- (3) その他の収益の確保

項目3 費用の抑制

IV 安定した医療提供体制の確立

項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備

項目2 医師確保対策の推進

項目3 看護師確保対策の推進

項目4 専門人材の充実・確保と人材育成の取組

項目5 働きやすい職場づくり

項目6 経営形態の検討

項目7 安定的な地域医療の提供

各県立病院の目標・計画

経営計画

前年度（R4年度）計画からの変更点等

○ 前回委員会でのご意見を踏まえた見直し項目

ご意見	対応
◆ 評価基準/理由が不明確な取組項目がある	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 数値目標：R5計画値設定の考え方を記載 ➤ それ以外：項目の性質に応じ以下のとおり対応 <ul style="list-style-type: none"> ① 可能な限り目標を数値化 ② 取組項目の性質上、数値化不可な項目は、点検・評価時に実績・評価理由を詳細に記載 ➤ 構造改革により資する取組項目・評価指標の設定を検討
◆ 広報は実施回数ではなく効果を検証すべき	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新たに講演会等の目標参加者数を記載 ➤ 病院事業に適した評価指標・方法を継続検討
◆ R3実績の点検・評価で「適応患者の減」と評価した取組項目はトレンドを見極めるべき	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 該当項目以外も含め、各取組項目を取り巻く環境の変化・トレンドを見極めR5目標を設定

○ 病院局で変更した項目

趣旨	変更点
◆ 第4次病院構造改革推進方策対象期間の最終年度計画であることを踏まえ、数値目標の推移を可視化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ R1以降の計画/実績値、評価印を記載

前年度（R4年度）計画からの変更点等

○ 変更点の記載例

説明

計画値、評価

R5計画値設定の考え方

(1) がん手術総件数

(単位：件 (延件数))

区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4見込/計画	R5計画	計画の考え方
国指定	がん	1,945/2,100【○】	1,779/1,920【○】	2,214/1,900【○】	2,210/2,050	2,250	計画手術件数の70%
	尼崎	1,474/1,500【○】	1,406/1,437【○】	1,427/1,456【○】	1,413/1,464	1,474	R1以降の最高値
	丹波	195/200【○】	230/230【○】	244/296【○】	264/240	270	R4見込並
	淡路	557/562【○】	337/518【○】	406/440【○】	348/390	410	R3実績並
県指定	西宮	1,103/980【○】	1,262/1,334【○】	1,296/1,150【○】	1,187/1,440	1,200	R4見込並
	加古川	967/821【○】	719/780【○】	802/841【○】	677/747	821	上期：R4見込並、下期：R1実績並
	姫路	-	-	-	693/477	828	開院1年+フルオープンによる増加
計		6,241/6,163【○】	5,733/6,219【○】	6,389/6,083【○】	6,792/6,808	7,253	

講演会等の参加者数

(単位：回、人)

・講演会の開催等

区分	病院名	講座名	R3実績/計画		R4見込/計画		R5計画		計画の考え方
			回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
1	尼崎	・市民すこやかセミナー	0/3【▲】	0/-	0/3	0/-	6	30	コロナ前(H30)並
2		・社協コラボ出前セミナー	1/3【▲】	78/-	0/3	0/-	8	80	コロナ前(H30)並
3	西宮	・県民公開講座(がん・生活習慣病)	0/3【▲】	0/-	2/1	120/-	3	140	コロナ前(H30)並
4	加古川	・県民向けフォーラム	1/1【○】	70/-	1/1	83/-	1	85	R4見込並
5	姫路	・市民講座	1/1【○】	130/-	16/1	1,170/-	12	720	月1回開催予定
6	丹波	(1) 病院フェスタ	0/1【▲】	0/-	0/1	0/-	1	400	コロナ前(H30)並
7		(2) 市民健康講座(地域と研修医との懇談会)	4/3【◎】	80/-	11/12	225/-	12	240	R4見込並
8	淡路	・病院フェスタ	0/1【▲】	0/-	0/1	0/-	1	※ -	コロナ前(H30)並 ※ケーブルTV放映のため集計不可

R5年度 重点取組事項

柱（項目）	事項	取組内容
★ 新型コロナウイルス感染症への柔軟な対応	◆ 5類移行後の対応 (資料1:p6、資料2:p1~p3)	➤ 感染症法上の5類移行に伴い変更される国・県の対応方針に応じた病床確保・患者受入れや院内感染防止対策等を推進
I より良質な医療の提供 (項目2 統合再編・建替整備／項目3 診療機能の効率化)	◆ 新病院の整備 (資料1:p15、資料2:p25)	➤ 西宮総合医療センター（仮称）の建設工事に着手 ➤ 新がんセンターの設計を完了、建設工事に着手
	◆ クリニカルパス推進体制の強化 (資料1:p16、資料2:p26)	➤ 更なるクリニカルパスの活用推進に向け、県立病院群としてクリニカルパス推進体制を強化
II 安心できる県立病院の実現 (項目3 患者サービスの向上／項目5 県民等への情報発信の推進)	◆ 病院DXの推進 (資料1:p20、資料2:p35)	➤ AI・ICTシステムの導入により、安全かつ質の高い医療提供や患者サービスの向上等を推進
	◆ 広報の強化 (資料1:p21、資料2:p38~p39)	➤ 病院事業に適した広報の評価指標・集計方法を含む広報強化策を検討
III 持続可能な経営の確保	◆ 病院別経営改善プランの策定 (資料1:p22、資料2:p40~p42)	➤ 病院と病院局が一体となり、抜本的な経営改善プランを病院別に策定
IV 安定した医療提供体制の確立 (項目5 働きやすい職場づくり)	◆ 働き方改革の推進 (資料1:p26、資料2:p58)	➤ 医師の時間外労働上限規制の適用開始を見据え、必要な宿日直許可を取得・時短計画を策定 ➤ 業務プロセスの見直し等により(医師以外を含む)全職員にとって働きやすい職場環境づくりを推進

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

★新型コロナウイルス感染症への柔軟な対応

資料2 P1～P3

目標

- 県民の命を守る最後の砦としての使命を果たすべく、フェーズに応じた新型コロナウイルス感染症患者対応に全力で対応
- 感染法上の5類移行後も、求められる役割を適切に遂行
- コロナウイルス感染症対策の課題等は十分に検証し、病院運営における必要な見直しを実施

取組項目（主なもの）

取組項目	目標／取組内容
◆ 病床確保・受入体制	➤ 5類移行までの間は、フェーズに応じた病床規模・受入れ体制を確保
	➤ 移行後は、県の方針を踏まえ適切に対応
◆ 院内感染防止対策の推進	➤ 国・県の対処方針を踏まえた標準予防策、適切なゾーニング等を実施
	➤ Wi-Fi環境の整備により、WEB面談やWEB面会を促進

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

資料2 P4～P8

Ⅰ より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化（1）がん医療

目標

- がんセンター等は、国・県指定がん診療連携拠点病院として高度専門的な集学的治療を実施
- こども病院は、小児がん拠点病院として集学的治療を実施するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を提供
- 粒子線医療センターは、神戸陽子線センターとともに、全ての世代の患者に対して身体への負担が少ない粒子線治療を提供

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ がん手術総件数	がん等7病院	7,253件	R1以降の最高値
◆ 外来化学療法件数	同上	42,958件	同上
◆ 遺伝子パネル検査実施件数	がん、こども	185件	同上
◆ キャンサーボード実施回数	粒子線等4病院	800件	R1以降の最高値 (治療件数目標に連動)

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

資料2 P9～P11

1 より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化（2）循環器疾患医療

目標

- はりま姫路総合医療センター等は、心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供
- 尼崎総合医療センター及びはりま姫路総合医療センターは、ハイブリッド手術システム等を活用した最新治療を提供

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ 冠動脈形成術の件数	丹波	100件	新型コロナ影響から一定回復（R2～R4：各年約90件で推移）
◆ 脳血管内手術の件数	西宮	50件	開頭術からシフト+指導医確保による診療拡充（R4見込：20件）
◆ 地域連携パスの運用件数（脳血管疾患）	尼崎	130件	コロナ禍前(H30)へ回復

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

Ⅰ より良質な医療の提供

資料2 P12

項目1 診療機能の高度化（3）糖尿病医療

目標

- 尼崎総合医療センター等は、地域での役割を踏まえた医療を提供
- また、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため、地域の医療機関との連携体制の構築を推進

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ 新規入院患者数	尼崎等5病院	886件	R1以降の最高値
◆ 糖尿病教育入院の実患者数	尼崎	210件	コロナ禍前(H30)へ回復
	加古川	118件	新型コロナ影響から一定回復 (R1:158件、R2～R4:100件未満)

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

Ⅰ より良質な医療の提供

資料2 P13～P15

項目1 診療機能の高度化（4）精神医療

目標

- ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、アルコール依存症等の**専門医療の充実、長期入院患者等の退院促進を推進**
- 認知症疾患医療センター指定病院（尼崎、姫路、淡路、こころ、リハ西）は、**鑑別診断を適切に実施**

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ 新規入院患者数	こころ等4病院	1,393人	R1以降の最高値
◆ 【新】疾患別リハビリテーションの実施（理学療法）	こころ	2,200件	急性期を脱した外傷患者や高齢化に伴う筋力低下患者の増加等を受け、今後力を入れていく分野のため新たに目標化
◆ 認知症鑑別診断の件数	尼崎	224件	R1以降の最高値

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

Ⅰ より良質な医療の提供

資料2 P16～P17

項目1 診療機能の高度化（5）救急・災害医療

目標

- 救命救急センターや2次救急輪番病院は、地域の医療機関や消防機関と連携し、**圏域の救急医療の確保に貢献**
- 災害医療センターは、**全県の救急・災害医療の教育拠点としての役割も発揮**

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ 救急車搬送患者数	尼崎等7病院	33,030人	R1以降の最高値
◆ 重篤患者数 〔(高度)救命救急C〕	尼崎等6病院	7,690人	同上
◆ DMAT隊員養成研修	災害	回数：9回 参加者数：250人	R4見込み並 (厚労省方針を踏まえ対応)

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

Ⅰ より良質な医療の提供

資料2 P18～P19

項目1 診療機能の高度化（6）小児・周産期医療

目標

- 小児救命救急センター及び小児中核病院である尼崎総合医療センター、こども病院を中心に、**小児救急医療を提供**
- 総合周産期母子医療センター（尼崎、こども）、地域周産期母子医療センター（西宮、淡路）は、地域の産科医療機関や消防機関と連携し、**役割に応じた周産期医療を適切に提供**

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ 小児救急車搬送患者数	こども	2,100人	R3以前並＋コロナ関連の搬送
◆ 母胎搬送受入数	姫路	172人	開院から1年経過＋フルオープンによる増加（R4見込：113人）
◆ 院内助産の実施件数	淡路	10件	R4見込並（開始年度(R3)から倍増）

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

Ⅰ より良質な医療の提供

資料2 P20～P21

項目1 診療機能の高度化（7）リハビリテーション医療

目標

- 全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院でロボットリハビリテーションを推進
- 同じくリハビリテーション西播磨病院において、神経難病リハビリテーションを適切に提供
- 急性期病院においては、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を推進

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ ロボット機器を用いたリハビリ実施患者数	リハ中央	150人	R4から人工股関節術前後の歩行状態評価に活用を開始し増加
◆ 回復期患者1人1日あたりのリハビリ単位数	リハ中央	6.5単位	人員体制を整備し増加（R4見込：6.2単位）
◆ 1日あたり外来患者数	リハ西播磨	44.1人	R1以降の最高値
◆ 急性期病院におけるリハビリ単位数	尼崎等8病院	551,045単位	同上

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

Ⅰ より良質な医療の提供

資料2 P22～P24

項目1 診療機能の高度化（8）その他の政策医療

目標

- 各病院の役割に応じ、結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療を適切に提供

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ アレルギー専門外来患者数	こども等5病院	9,677人	R1以降の最高値
◆ 透析の件数	加古川等	31,442件	コロナ禍前へ徐々に回復
◆ 末梢血幹細胞移植の実施件数	こども等4病院	58件	R1以降の最高値
◆ へき地医療機関への医師派遣日数	姫路	14日	旧広畑病院が担ってきた役割を踏襲

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

資料2 P25

1 より良質な医療の提供

項目2 統合再編・建替整備

目標

- 西宮総合医療センター（仮称）の統合再編整備、がんセンターの建替整備を推進

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容
◆ 統合再編・建替整備	西宮	➤ 統合再編基本計画・設計に基づき、建設工事を実施
	がん	➤ 建替整備基本計画に基づき、設計・建設工事を実施 ➤ 合併症対応等について、引き続き近隣医療機関と協議
◆ 跡地利用	旧柏原	➤ 活用方法が未定の跡地について、利活用策を継続検討
	旧姫路	➤ 建物の解体設計・工事等を実施
	西宮	➤ 活用方法が未定の建物について、民間への売却を検討

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

資料2 P26

Ⅰ より良質な医療の提供 項目3 診療機能の効率化

目標

- 診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応
- クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供
- 専門センター制やチーム医療の推進等により、診療体制を充実

取組項目（主なもの）

取組項目	目標／取組内容
◆ クリニカルパスの充実	➤ 使用可能なクリニカルパスの拡充及び適用率の向上に努め、全病院においてクリニカルパス適用率を維持・向上
	➤ 【拡充】更なるクリニカルパスの活用推進に向け、県立病院群としてクリニカルパス推進体制を強化

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

資料2 P27

Ⅰ より良質な医療の提供 項目4 臨床研究等の充実

目標

- 県立病院の医療水準を向上するため、各種の臨床研究を推進
- 医薬品等の安全性を高めるとともに、医療の質の向上を図るため治験を推進

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ 受託研究の件数	がん等12病院	833件	R1以降の最高値
◆ 治験の件数	がん等6病院	216件	同上

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

II 安心できる県立病院の実現

資料2 P29～P32

項目1 地域医療連携の推進

目標

- 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院等は、医療機器の共同利用の促進、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を実施
- また、地域連携クリニカルパス等の推進を図るなど、地域医療連携を推進
- 他の病院及び診療所においても、オープンセミナー等の実施や地域連携クリニカルパス等の活用により地域医療連携を推進し、紹介率、逆紹介率を維持・向上

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ 医療従事者向け研修の実施回数	加古川等8病院	159回	コロナ禍前への回復基調を継続
◆ 地域連携パス会議や関係者連絡会議の開催回数	西宮等9病院	128回	R1以降の最高値

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

II 安心できる県立病院の実現

資料2 P33～P34

項目2 医療安全対策等の推進

目標

- 病院局及び各病院が一体となり、医療事故の発生防止や院内感染防止を推進
- 医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決を促進

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ ヒヤリ・ハット報告件数	全病院	19,670件	病床数の5倍（各種研究において重篤医療事故の防止対策の検討に十分とされている件数）
◆ 入院患者への服薬指導率	全病院	80%以上	他院の実施率等を勘案し、新たに目標化
◆ 県立病院感染対策会議の開催回数	全病院	2回	目標評価・情報共有を強化するため、R5から1回→2回へ拡大

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

II 安心できる県立病院の実現

資料2 P35～P36

項目3 患者サービスの向上

目標

- 外来待ち時間の短縮、在院日数の適正化、快適な療養環境の確保により患者サービスの向上を推進
- AI、ICTシステムなどを順次導入・拡大し、県立病院DXを推進

取組項目（主なもの）

取組項目	病院	目標／取組内容	目標の根拠・補足説明
◆ 入院前検査センターで扱うクリニカルパスの件数	尼崎等7病院	1,411件	R1以降の最高値
◆ 同入院・検査説明件数	尼崎等8病院	62,863件	同上
◆ PFMアセスメント率	尼崎	75.0%	患者サポートセンター棟整備による体制拡充
◆ 県立病院DXの推進		➤ 県立病院DXを統一的に推進する検討体制を整備し議論を継続 ➤ 可能なものから順次展開	

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

II 安心できる県立病院の実現

項目4 医療の信頼性の向上

資料2 P37

目標

- 患者視点でのわかりやすいインフォームド・コンセントやセカンド・オピニオン等を実施
- 病院運営懇話会等において広く県民等から意見を求め、県民の医療ニーズを病院運営に反映
- 患者や家族の立場や心理に十分配慮した接遇やコミュニケーションを実施

項目5 県民等への情報発信の推進

資料2 P38～P39

目標

- 病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌により県立病院の情報をわかりやすく提供
- 病院事業に適した広報の評価指標・集計方法を含む広報強化策を検討→新たな媒体の活用を含む効果的な広報を展開

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

Ⅲ 持続可能な経営の確保

資料2 P40～P42

項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組

目標

- 上半期に新型コロナウイルス感染症の影響を見込んでおり、令和5年度当初予算は、25億円の経常損失、31億円の純損失見込み
- 引き続き、通常医療との両立を図りながら、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善を推進

令和5年度当初予算（13病院計、単位：億円）

区 分		令和3年度決算	令和4年度決算見込	令和5年度当初予算
収益的 収支	経常収益	1,492	1,608	1,697
	（うち一般会計繰入金）	159	164	165
	経常費用	1,463	1,659	1,722
	経常損益	28	△ 51	△ 25
	特別損益	3	△ 42	△ 6
	純損益	32	△ 93	△ 31
資本的 収支	収入	344	180	406
	（うち一般会計繰入金）	71	72	70
	支出	389	211	455
	差引（資金収支）	△ 45	△ 31	△ 49

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 （1）患者の受入れ促進等

資料2 P43～P45

目標

- 診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進

患者数の状況（指定管理病院を除く、単位：人）

区 分		入院	外来	入院+外来	区 分		入院	外来	入院+外来
延患者数	令和3年度決算	873,793	1,486,997	2,360,790	新規 患者数	令和3年度決算	69,881	112,278	182,159
	令和4年度決見①	1,032,645	1,659,372	2,692,017		令和4年度決見③	80,563	135,731	216,294
	令和5年度計画②	1,150,041	1,766,339	2,916,380		令和5年度計画④	84,206	145,536	229,742
	差引②-①	117,396	106,967	224,363		差引④-③	3,643	9,805	13,448

（2）診療機能に見合う収益の確保等

資料2 P46～P48

目標

- 診療報酬制度への的確な対応、手術件数の増加等により、診療機能に見合う収益を確保

診療単価・手術件数の状況（指定管理病院を除く）

区 分		入院	外来	区分		件数
診療単価	令和3年度決算	82,930円	23,713円	手術件数	令和3年度決算	44,867件
	令和4年度決見①	81,594円	22,989円		令和4年度決見③	52,211件
	令和5年度計画②	82,457円	22,762円		令和5年度計画④	53,908件
	差引②-①	863円	△ 227円		差引④-③	1,697件

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

III 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 （3） その他の収益の確保

資料2 P49～P50

目標

- 未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続き **その他収入を確保**
- 未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を実施

項目3 費用の抑制

資料2 P51～P52

目標

- 診療機能に見合う収益を確保するため、費用対効果の検証に基づく経営資源の有効活用に取り組み、**医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率を改善**

（指定管理を除く10病院）

- ・ 給与費比率 令和4年度決見63.7%(50.1%) → 令和5年度計画59.2%(48.7%)
- ・ 材料費比率 令和4年度決見35.7%(28.1%) → 令和5年度計画34.5%(28.4%)
- ・ 経費比率 令和4年度決見21.4%(16.8%) → 令和5年度計画18.9%(15.5%)

※カッコ内は、**対経常収益比率**

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

IV 安定した医療提供体制の確立

項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備

資料2 P53

目標

- 病院事業を取り巻く環境の変化や診療報酬基準の改定、診療機能の高度化等に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、**組織・職制の見直しと人員の適正配置を実施**

項目2 医師確保対策の推進

資料2 P54

目標

- **必要な医師総数の確保や地域偏在・診療科偏在の解消に向け、医師育成システムの構築や医師にとって魅力ある勤務環境を整備するなど、総合的な医師確保対策を推進**

項目3 看護師確保対策の推進

資料2 P55～P56

目標

- 新病院整備や診療機能の高度化等に対応するため、**安定的な看護師の確保・育成を図るための多様な取組を積極的に推進**

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

IV 安定した医療提供体制の確立

項目4 専門的人材の充実・確保と人材育成の取組

資料2 P57

目標

- 診療機能の高度化・専門家やICTの高度化等の医療を取り巻く環境変化に迅速かつ的確に対応するため、求められる専門性を備えた人材の確保・育成を図るための取組を実施

項目5 働きやすい職場づくり

資料2 P58

目標

- 働きやすい職場づくりに向け、超過勤務の縮減や職員自身の健康管理意識の高揚を図るため、継続して以下の取組を実施
 - ・ 労働時間の適正化の推進（業務の平準化、タスクシフティング等）
 - ・ 魅力ある執務環境の整備（給与の見直しによる処遇改善等）
 - ・ 女性医師が働きやすい環境の整備（育児休業や育児短時間勤務制度の活用促進等）
 - ・ 医師の働き方改革の推進（適切な労務管理、宿日直許可の取得等）

実施計画の概要（項目ごとの目標及び主な取組項目）

IV 安定した医療提供体制の確立

項目6 経営形態の検討

資料2 P59

目標

- 病院事業を取り巻く環境の変化や病院事業の経営状況等を踏まえ、令和6年度以降の病院事業に最も相応しい経営形態のあり方を検討
- ※ 第4次病院構造改革推進方策において、「2023年度（令和5年度）までは地方公営企業法の全部適用を維持する」としており、以降の方針を検討

項目7 安定的な地域医療の提供

資料2 P60

目標

- 今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供